



株主通信

第94期報告書

2024年4月1日～2025年3月31日

株式会社ジャックス
証券コード: 8584



取締役社長(代表取締役)
村上 亮

新たな中期3カ年経営計画「Do next!」をスタートさせました。

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、株式会社ジャックス第94期(2024年4月1日～2025年3月31日)株主通信をお届けします。

当社は、2025年3月に株式会社三菱UFJ銀行との資本業務提携を拡充し、

2025年4月に中期3カ年経営計画「Do next!」をスタートさせました。

当中期経営計画の3カ年で、重点戦略を着実に実行し、

当社グループの再成長と企業価値向上に取り組んでいきます。

株主の皆様には、より一層のご支援とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

第94期経営成績

中期3カ年経営計画「MOVE 70」の最終年度である第94期は、金利ある世界へと移行したことで金融費用が増加するなど、当社グループを取り巻く環境は一段と厳しさを増しました。これらに対応するため、営業店網の再構築などの事業構造改革に取り組むとともに、クレジット事業を中心に加盟店との取引条件を見直し、適正な利益の確保に努めました。ペイメント事業やファイナンス事業については、安定的に推移したことで取扱高が増加しましたが、クレジット事業のマイナスを補うには至りませんでした。海外事業では、カンボジアやフィリピンでの営業エリアを拡大するなど、一定の成果を出すことができたものの、ベトナムやインドネシアでの事業環境の回復が想定以上に遅れたことにより、厳しい状況での推移となりました。

これらの結果、取扱高は減少しましたが、割賦利益繰延残高の戻し入れや信用保証残高の積み上げにより、営業収益は増加しました。経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、金融費用や貸倒関連費用などの営業費用が増加したことにより、減少しました。

第95期の見通し

新たにスタートした第15次中期3カ年経営計画「Do next!」では、MUFGグループとの連携とM&Aによる成長戦略の加速を掲げ、住宅関連商品などの環境分野や保証分野、そして海外事業のさらなる成長・拡大を目指します。また、これまで取り組んできたMUFGグループとの協働を強化し、当社を取り巻く経営環境の変化に対応していきます。加えて、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題の1つと捉え、配当政策の一部見直しを行いました。(詳細は次頁以降をご覧ください。)

第95期の通期連結業績は、「Do next!」で掲げた施策を着実に実行することで、営業収益1,915億円、経常利益200億円、親会社株主に帰属する当期純利益155億円を予想しています。

株主還元につきましては、1株あたり200円(中間100円、期末100円)の配当を予定しています。



※創立70周年記念配当10円を含む。

第14次中期3カ年経営計画 (2022年度-2024年度)の振り返り



事業環境の変化に伴い、事業構造改革の推進に注力

当社グループは、2022年度から2024年度までの3カ年を対象とする「MOVE 70」において、4つの「3年後のあるべき姿」を掲げ、各種施策に取り組んできました。

MOVE 70の総括

あるべき姿 1

強みを活かした 国内事業の収益基盤拡充

- 金利変動型クレジット商品をリリースし、取扱高を拡大
- 住宅ローンの保証残高積み上げにより、安定収益を確保
- 三菱UFJ銀行との協業商品「ネットDEローン」の保証残高目標1,000億円を、半年前倒しで達成
- 「あと分割」「SPLIE」などの新サービスをリリース

あるべき姿 2

将来の成長をけん引する 海外事業の収益基盤確立

- ベトナムでWeb申込アプリをリリースし、二輪車ローンの取扱高が拡大
- カンボジアとフィリピンで営業エリアを拡大し、加盟店数が増加
- マレーシアにおける金融事業への参入を決定

あるべき姿 3

国内・海外の成長を加速する 経営基盤の強化

- コスト構造改革や業務効率化に取り組み、コスト削減を実現
 - リスク統括部を組成し、ERM*体制を強化
 - DX戦略の推進により、業務効率化が進展
- *ERM: Enterprise Risk Management (統合リスクマネジメント)

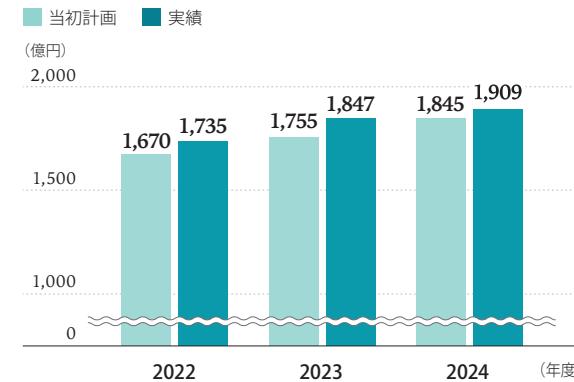
あるべき姿 4

ESG経営の推進

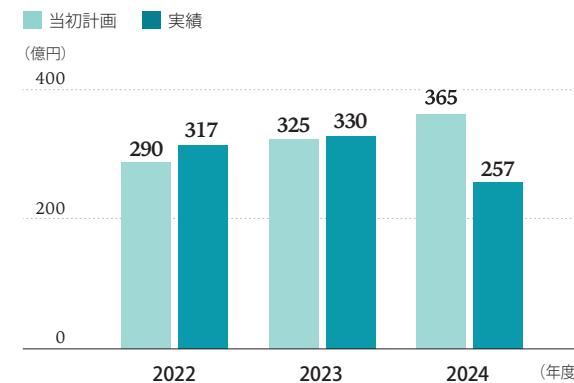
- マテリアリティに基づいた戦略や施策を実行
- 事業を通じて環境商品の取扱高を拡大し、環境負荷低減に貢献
- サステナビリティ委員会をはじめとした各種委員会を新たに設置し、サステナビリティ課題への対応を強化

定量実績

営業収益



経常利益



課題・今後の取り組み

- 営業部門とシステム部門が一体となり、さらなる商品・サービスの開発を強化
- 環境変化に左右されない事業構造への変革
- 新たなシナジー創出に向け、MUFGグループとの連携を強化

MUFGグループとの資本業務提携を強化

当社は、2008年2月に株式会社三菱東京UFJ銀行(以下「三菱UFJ銀行」)と資本提携を行い、今日に至るまでグループ協働に取り組んできました。一方、金利上昇による金融環境の変化やDXの進展など、当社グループを取り巻く経営環境は急激に変化しています。

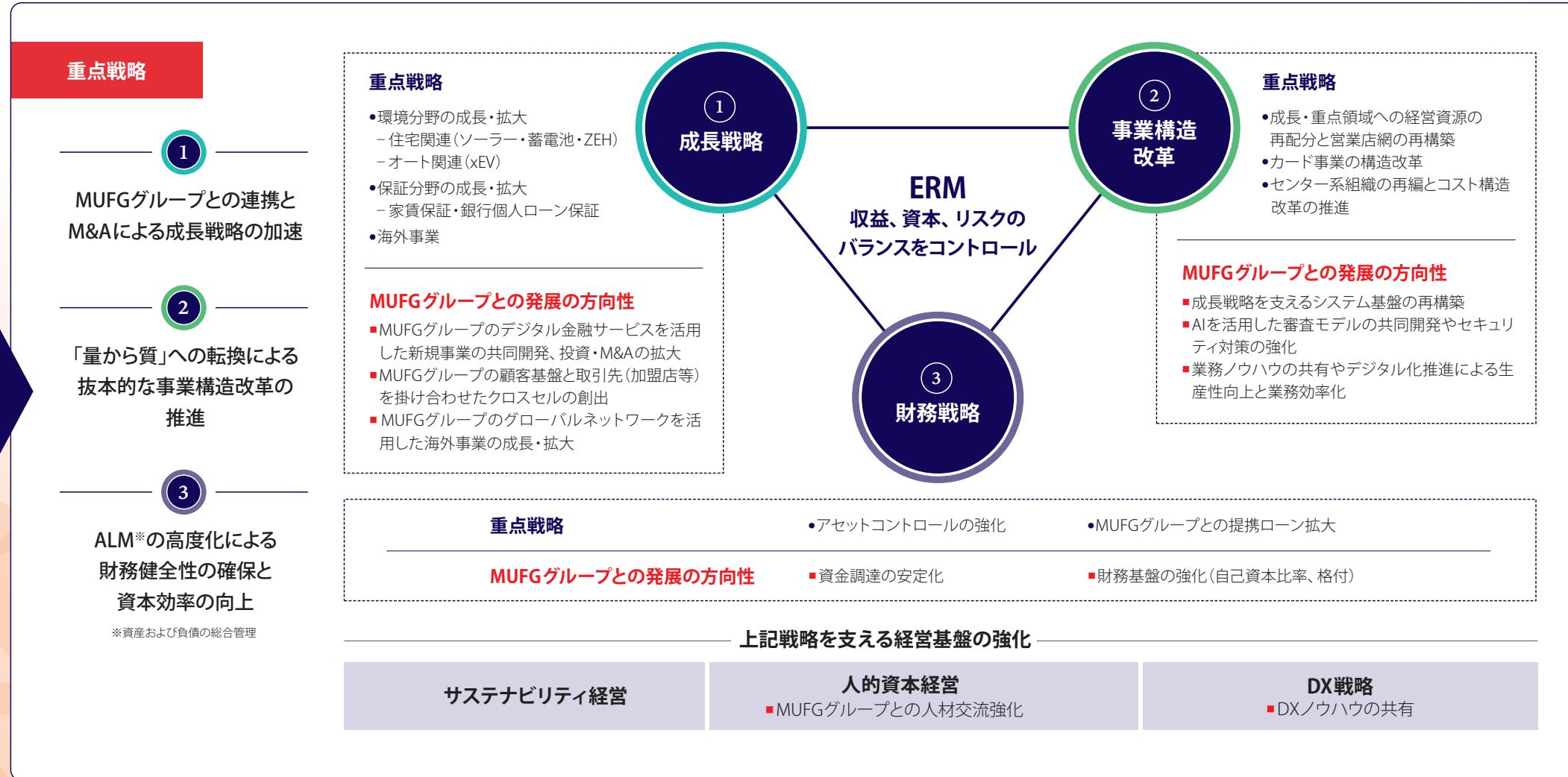
このような環境変化に対応し、さらなる提携の強化・拡充を図るため、当社は2025年3月に、三菱UFJ銀行との間で新たな資本業務提携契約を締結し、三菱UFJ銀行を割当予定先とする第三者割当による増資を行うことを決定しました。

第15次中期3カ年経営計画 (2025年度-2027年度)の新たな取り組み



MUFGグループとの連携拡充により「変革」と「再成長」に挑む3年間

環境が大きく変化する中、当社が次のステップへ進んでいくこととあわせて、従業員一人ひとりが自発的に次の目標に対する意識を持って行動するという想いを込め、計画名称を「Do next!」としました。



計数計画

	2025年度	2026年度	2027年度
連結	(億円)		
営業収益	1,915	1,990	2,045
経常利益	200	250	310
親会社株主に帰属する当期純利益	155	180	230

配当政策

株主の皆様への安定的かつ継続的な配当を経営の重要課題の一つとし、内部留保の拡充と資本の有効活用によって、競争力を強化することと株主価値を向上させることを配当政策の基本方針としました。

この方針のもと、当中期経営計画における配当政策は、DOE(株主資本配当率)3.0%、または配当性向40%を目安にいずれか高い方とし、1株当たり200円以上の安定的な配当を目指します。

連結決算ハイライト

損益状況 (各年度の4月1日～3月31日の1年間)

	2023年度	2024年度
取扱高 (百万円)	5,853,833	5,701,077
営業収益 (百万円)	184,782	190,978
経常利益 (百万円)	33,060	25,765
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	23,770	18,620
1株当たり配当金 (円)	220*	190

*創立70周年記念配当10円を含む。

キャッシュ・フロー (各年度の4月1日～3月31日の1年間)

	2023年度	2024年度
営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	△98,024	△45,170
投資活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	△6,258	△7,448
財務活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	129,021	39,738

財政状態 (各年度の3月31日時点)

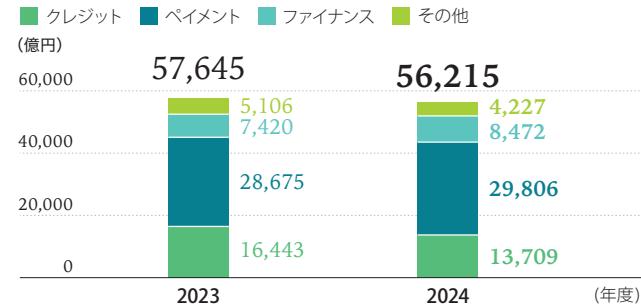
	2023年度	2024年度
総資産 (百万円)	3,777,595	3,806,786
純資産 (百万円)	238,440	255,809

連結セグメント概況

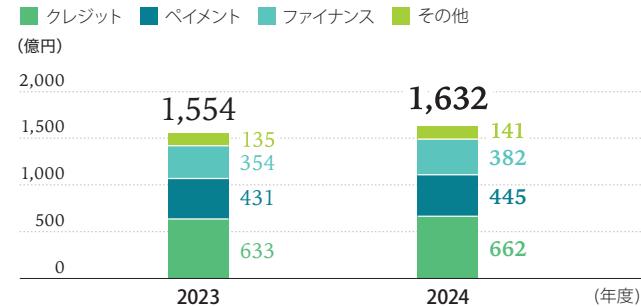
(各年度の4月1日～3月31日の1年間)

国内事業

取扱高



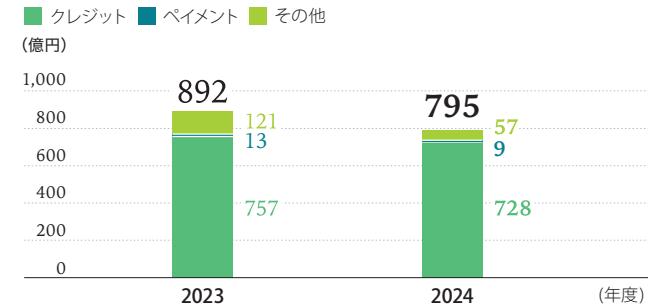
営業収益



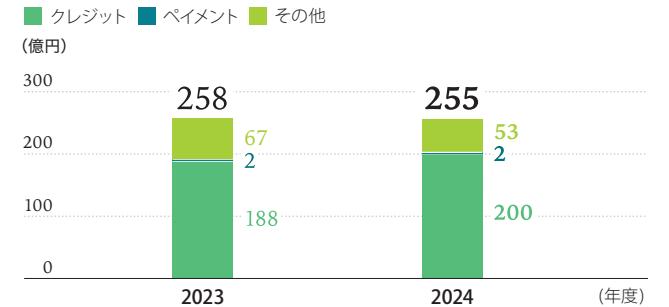
(注) 1. 営業収益は金融収益を除いた事業収益を表示しております。
 2. 「カード・ペイメント事業」の名称を「ペイメント事業」に変更しております。

海外事業

取扱高



営業収益



POINT

国内事業

- クレジット事業は、営業体制の強化や金利変動型商品の導入により、住宅リフォームが堅調に推移。一方、利上げの影響により幅広い業種でシェアが低下し、クレジット申し込みが減速したことで、取扱高が減少。営業収益は、割賦利益繰延残高の戻し入れにより増加
- ペイメント事業は、集金代行、家賃保証における新規提携先の拡大や、インバウンドの大幅増加に伴うコード決済の拡大により、取扱高が増加。営業収益は、カードリボショッピングの手数料率改定に伴い増加
- ファイナンス事業は、提携金融機関と連携した金利施策により、住宅ローン保証が堅調に推移。銀行個人ローン保証は、三菱UFJ銀行を中心としたマイカーローンなどの利用がけん引し、取扱高・営業収益ともに増加

海外事業

- カンボジアとフィリピンでの営業エリア拡大や加盟店開拓が奏功するも、ベトナムとインドネシアの低迷が響き、取扱高・営業収益ともに減少

マレーシアで金融事業に参入

2025年4月、当社はマレーシアの現地企業Carsome Sdn.Bhd. (以下、「Carsome社」)の傘下にあるファイナンス会社、Carsome Capital Sdn.Bhd. (以下、「Capital社」)の株式を49%取得し、経営に参画しました。

Carsome社は、マレーシアを中心に中古車ネットオークションプラットフォームを運営する、同国初のユニコーン企業です。マレーシア国内の中古車流通の約25%を担っており、現在も年間約10%のペースで販売台数が増加しています。

Capital社は、Carsome社の直営店において、顧客向けのオートローンや、Carsome社が一般中古車ディーラーに卸売を行う際の仕入れローンを提供しています。今後の同国における中古車市場の拡大に伴い、Capital社のさらなる成長が見込まれます。

当社は、Carsome社との戦略的パートナーシップのもと、今後はマレーシア以外の国での事業拡大も検討していきます。



新ゴールドカード「Gold Time」をリリース

2024年12月、当社は新たなゴールドカード「Gold Time (ゴールドタイム)」の会員募集を開始しました。

タイムパフォーマンスを重視する若年層のお客様を主な対象とし、貯まったポイントを手続き不要で自動的に交換できるサービスを提供します。

また、当社の標準ポイントサービスと比較して2倍のポイント還元が適用されるほか、外食や分割払い、リボ払いの利用で4倍のポイントが付与され、より効率的にポイントを貯めることができます。



4月より新CMが始まりました



新たなイメージキャラクターとして高石あかりさんおよびimaseさんを起用し、新CM「未来を、買ったんだ。」シリーズを制作しました。本シリーズでは、「買う」という決断が、自分自身や周囲の未来にどのような影響をもたらすのかをテーマとしています。「未来を変えた買いもの」について、高石さんとimaseさんそれぞれの実体験をもとに描きました。

高石あかり 編



芝居を志して上京した自身の経験を、当時を思い起こす高石さんの表情とともに、ドラマチックに描いています。照明が落ち、楽屋の鏡が東京に向かう車窓の風景へと変わる演出が印象的です。ワンカット長回しによる難易度の高い撮影でしたが、高石さんの見事な演技が際立ちました。

Profile

2002年生まれ、宮崎県出身。2019年より俳優として本格的に活動を開始。2025年度後期NHK連続テレビ小説「ばけげん」のヒロインを務めることが決定しており、今後の活躍が期待される。

imase 編



楽曲制作に夢中になるimaseさんの姿を等身大で描き、小型のシンセサイザーから始まる物語を表現しました。今回のCMのために書き下ろしていただいた楽曲『惑星ロマンス』が、映像にエモーショナルな彩りを添え、買いものの先に広がる明るい未来を感じさせる作品に仕上がっています。

Profile

2000年生まれ、岐阜県出身。音楽活動開始わずか1年でTikTokに投稿した楽曲が話題となり、2021年にメジャーデビューした新世代アーティスト。2025年7月には、自身初となる日本武道館公演の開催が決定している。

会社・株式情報

会社概要 (2025年3月31日現在)

商号	株式会社ジャックス
設立年月日	1954年6月29日
資本金	161億3,818万円
本店所在地	北海道函館市若松町2番5号
本部所在地	東京都渋谷区恵比寿4丁目1番18号 恵比寿ネオナート
従業員数	2,673名

株式の状況 (2025年3月31日現在)

発行可能株式総数	78,910,000株	単元株式数	100株
発行済株式総数	35,079,161株	株主数	70,552名

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社三菱UFJ銀行	7,015	20.18
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,992	8.60
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,792	8.03
ジャックス共栄会	1,660	4.77
第一生命保険株式会社	1,359	3.91
明治安田生命保険相互会社	1,275	3.67
ジャックス職員持株会	931	2.67
日本生命保険相互会社	588	1.69
三菱UFJ信託銀行株式会社	564	1.62
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	441	1.26

- (注) 1. 持株比率は、自己株式(317千株)を控除して計算しております。
2. 持株数および持株比率は単位未満を切り捨てて表示しております。

Cover Story

今年度から始まった中期経営計画のもと、MUFGグループとの連携によって、当社事業がさらに飛躍していく様子を表現しました。持続可能な成長を目指し、グループ一丸となって事業の発展にまい進していきます。



取締役・監査役 (2025年6月26日現在)

取締役会長	山崎 徹	取締役(社外)	鈴木 政士
取締役社長 (代表取締役)	村上 亮	取締役(社外)	岡田 恭子
取締役専務執行役員 (代表取締役)	未弘 昭仁	取締役(社外)	三瓶 博二
取締役常務執行役員	小林 一郎	取締役(社外)	下森 右子
取締役常務執行役員	瀬川 和彦	常勤監査役	阿保 敬吾
取締役常務執行役員	中澤 辰生	常勤監査役	渡辺 宣佳
取締役常務執行役員	岩瀬 豪	監査役(社外)	小町谷 悠介
		監査役(社外)	小野 英樹

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
株主確定基準日	期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日

単元株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	

同連絡先
三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
TEL 0120-232-711 (通話料無料)
(郵送先)

〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
東京証券取引所プライム市場

上場証券取引所

公告の方法

電子公告により当社ホームページ
(<https://www.jaccs.co.jp>)に掲載いたします。た
だし、事故その他やむを得ない事由により電子
公告をすることができないときは、日本経済新
聞に掲載いたします。

株式会社ジャックス

本部 〒150-8932 東京都渋谷区恵比寿4丁目1番18号 恵比寿ネオナート
TEL 03-5448-1311 (代)

当社ホームページをご覧ください。 <https://www.jaccs.co.jp>

UD
FONT
見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

